

2019年9月23日

あおぞら投信株式会社

## 「合意なし その後が始まる 交渉に 何を背負いて 席に着くかと」

今年7月に、エリザベス女王により英国第77代首相に任命されたボリス・ジョンソン首相は、10月31日の欧州連合(EU)離脱に向けて強硬な姿勢を貫いています。8月末には、9月12日から10月14日までの間、英国議会を閉鎖するという手を打ちました。これは明らかに反対派の議論の時間を制限して、強硬に離脱を進めるための議会制民主主義への挑戦とも見えます。

1837年から1901年までヴィクトリア女王が統治した時代に、議会政治は二大政党制を実現させて保守党と自由党が交互に政権を担当したのです。この間はパックス・ブリタニカと呼ばれる国際社会の安定に努めており、英国繁栄の時代だったのです。時代は変わり20世紀に入ると米国に覇権は移っていきました。七つの海を制していた国である英国が、欧州の一員として位置付けられ、さらに欧州大陸との距離をどのように図っていくのかという歴史から、EUに対して『合意なき離脱』という選択肢に迫られるような状況へと変化しています。ここからのスケジュールでは、10月17日-18日のEU首脳会議で離脱協定案の再交渉を試みるとみられていますが、合意は簡単ではないと思われます。国内では、議会在可決したEU離脱延期法案はエリザベス女王が裁可して成立しています。ジョンソン首相は法に従うとしながらも、10月末の離脱を明言しており、具体的な方策は示されないままに時間が過ぎていきます。強気のジョンソン首相に対して、キャメロン元首相は2回目の国民投票も選択肢にあるとコメントするなど、着地点は見えていません。今回の英国の試練は、議会制民主主義が誰のための代表として、どのような決定をするのか、そのプロセスは対外的に通じるものなのか、など他の国にとって、そして日本にとっても他山の石とすべきものかも知れません。

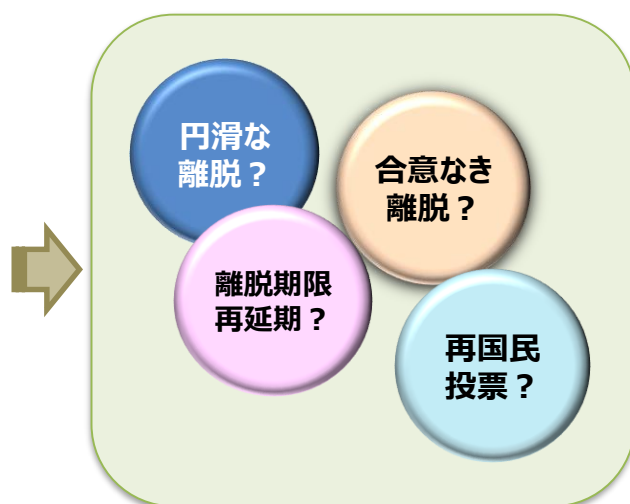
柳谷俊郎

※上記は筆者の見解であり、当社の公式見解ではありません。

### 英国 EU離脱までのスケジュール

7月26日	議会 夏季休会入り
8月24日~26日	先進7カ国 (G7) 首脳会議
9月3日	議会 再招集
9月12日~10月14日	議会 英与党・保守党 党大会のため休会
10月17日~18日	欧州連合 (EU) 首脳会議
10月31日	EU離脱期限

### その後の 選択肢とは・・・?



出所: 各種報道を基にあおぞら投信が作成。

本資料は情報の提供を目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、本資料作成日現在の当社の見解であり、事前の予告なしに変更される事もあります。投資信託の取得に当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号: あおぞら投信株式会社 金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第2771号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会 ホームページ・アドレス: <http://www.aozora-im.co.jp/>